

報道関係各位

2023年11月17日

防潮堤に壁画を描くプロジェクト「海岸線の美術館」 壁画完成披露会「雄勝壁画まつり」に出展

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼COO:小沼直人、以下アクティオ)は、防潮堤に壁画を描くアートプロジェクト「海岸線の美術館」の活動に賛同し、美術館スポンサーとして協賛活動を実施しました。

この度 2023 年に制作した壁画 2 作品の完成を祝うお祭り「雄勝壁画まつり」が 10 月 22 日(日)に宮城県石巻市雄勝町で開催されました。



当日は、完成した壮大な壁画の前でアクティオの高所作業車を使い壁画を空から眺めることができる「アクティオ天空壁画ツアー」が開催され大いに盛り上がりました。

また、お祭りでは、石巻広域消防音楽隊の演奏やアーティストによる音楽ライブ、会場内にはキッチンカーやアクセサリを販売するマルシェなどが出店するなど、様々なイベントが行われ盛大な賑わいを見せました。

アクティオは、今後もさまざまな活動を通じて豊かな社会に貢献する活動を続けてまいります。



■「海岸線の美術館」とは

2022年11月に宮城県石巻市雄勝町に誕生した野外美術館です。2011年に発生した東日本大震災後に海岸線を囲うように建設された、高さ最大10m、全長約3.5kmの巨大な灰色の防潮堤の壁面に壁画を描き、壁によって海の風景を見ることができなくなった海岸線に新しい風景を生み出すことで、人と防潮堤の新たな関係性を築くことを目指しています。毎年、地域住民や全国の支援者を巻き込みながら徐々に壁画の数や範囲を増やしていき、町全体を美術館にしていく計画です。壁画から壁画まで海岸線沿いを巡って鑑賞することで、雄勝の魅力を隅々まで味わえる設計になっています。

アクティオは、SDGsにも積極的に取り組んでおり、同プロジェクトはSDGsの目標11の「持続可能な都市」にあたる活動として、地域貢献の観点からも永続的にサポートを行っていきます。



■アクティオの取り組み

- ・壁画を描く際に使用する、高所作業車のレンタル

■「海岸線の美術館」概要

所在地：〒986-1336 宮城県石巻市雄勝町上雄勝2丁目22

開館時間：0:00～24:00 休館日：年中無休

(野外美術館につき、いつでもご覧頂けます。ご自由にご観覧ください)

入館料：無料

<https://kaigansennobijutsukan.com/>

■「海岸線の美術館」運営に関して

事業運営主体：一般社団法人 SEAWALL CLUB

共催：石巻市

当美術館の防潮堤を利活用した壁画は、石巻市と一般社団法人 SEAWALL CLUB の共催事業です。石巻市が宮城県より防潮堤の使用許可を取得し、一般社団法人 SEAWALL CLUB が石巻市と協議をしながら、運営・管理を行っていきます。

協賛:株式会社アクティオ／関西ペイント販売株式会社／協立塗料株式会社／大恵丸／
株式会社 AZOTH／合同会社なないろ(いしのまきレンタカー)／株式会社大槻組
協力:サン商事興業・留畑塗装／MAHO KUBOTA GALLERY／一般社団法人硯上の里おがつ
助成:公益財団法人熊谷正寿文化財団

■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介しています。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』（算数とハートの経営 2014年 幻冬舎）。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、

状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 広報部 担当:成澤、深沢

TEL:03-6262-7867 FAX:03-6262-7982 e-mail:koho@aktio.co.jp